

お茶の視察にロイ・フォング氏

12月7日 アメリカの茶業界第一人者「ロイ・フォング」氏が来町されました。

アジア系住民の多いサンフランシスコ・ベイエリアは全米でもお茶の消費量が多く、いわばアメリカの“お茶の首都”ともいわれ、多くのお茶の専門店があるなか、ロイ・フォング氏が経営する「インペリアル・ティーコート」はその中でも老舗中の老舗とされています。

同氏は、現在、サンフランシスコとパークレーの2か所に店舗を構えるほか、レストラン等への卸売りも手がけ、全米で講演活動やテレビ・ラジオ番組への出演も積極的に行っています。そのほか、毎年11月に開催される「サンフランシスコ・インターナショナル・ティーフェスティバル」というサンフランシスコ・ベイエリア最大級のお茶のイベントも主催しており、押すに押されぬアメリカ茶業界の第一人者です。

中国や台湾のほか、日本、インド、スリランカ等からも自らが厳選したお茶を自社輸入しており、年に数回お茶の産地に足を運び、納得したものだけを輸入しているとの事で、今後アメリカにおいて需要が伸びると期待される緑茶の産地視察のために、錦江町に来町されました。

高く評価された錦江町のお茶 ～生産方法、歴史、飲み方など他の産地のお茶との違いを伝える事が大事！

錦江町では、大根占・田代双方のお茶畑の視察のほか、お茶の試飲や生産者との意見交換を行いました。同氏からは、大根占・田代双方のお茶について、高い評価を得た一方、自身が取り扱うに当たっては、アメリカの有機規格NOP（日本の有機JASと同等性あり）の取得が原則とのことでした。

「日本産の緑茶は一般的に品質が高いというイメージがあり、人気がある。煎茶や抹茶もよく売れている。ただし、米国でも多く飲まれているのはコーヒー。一般の人は中国産の緑茶と日本産の緑茶の違いを知らずに飲んでいる。日本茶の需要を作り出すには、種類、産地、生産方法、歴史、飲み方などを通じて、その質の高さをしっかり伝えていく必要がある。信頼できる生産者とパートナーシップを組んで、日本茶の需要を開拓することにチャレンジしたい。アメリカでは、まだこうした動きはできていないので、今がチャンスである。今日試飲した

お茶の中には、条件が整えば扱いたいと思う商品もあった。今回の視察を機に、互いの信頼関係を深め、取引に繋がることを希望する。」(ロイ氏コメント)

国内のお茶の価格は低迷し、厳しい状況にあります。品質を極め、種類、産地、生産方法、歴史、飲み方などを丁寧に伝えていく事により、日本茶の市場を広げていく可能性はまだあるということ共有することができました。



大根占茶園見学（左から3番目、4番目がフォング夫妻）



田代茶園視察



大根占茶・田代茶の試飲



生産者等と意見交換

create the future

みんなで未来をつくらう 錦江町「MIRAI」づくりプロジェクト

将来の錦江町を、日本を引き継ぐ子どもたち。

私たちの子どもや孫のためにいま私たちに何ができるか、一緒に力を合わせて、知恵を出し合って考えてみませんか

最新情報はこちらから▶

錦江町まち・ひと・MIRAI 検索



3月に“小さなSDGsチャレンジ”発表会を実施！

錦江町の持続可能な未来を町民が一緒になって考えることを目的に、昨年10月から合同研修（ニセコ町・下川町で実施）や、そのネクストステップとしてのチャレンジ計画会を実施し、「今自分たちに何ができるのか？何をやるべきなのか？」を話し合いました。

このチャレンジ内容の発表会を3月に実施予定です。研修メンバーからは「語り合えるSDGs部の結成！」、「コミュニティスクール の推進！」、「錦江町のゴミの行方調査！」などわくわくするようなチャレンジ案が出されていますので、計画内容やチャレンジ後の変化などの報告を楽しみにしていただきます。



第4回「未来」想像・創造コンテスト事業提言書を提出

「自分またはみんなで学びたいこと」をテーマにアイデアを募集した『第4回 錦江町「未来」想像・創造コンテスト』。皆さまから頂いた沢山のアイデアをもとに、MIRAI創生協議会が事業提言書を作成し、12月19日に当会会長から木場町長へ提出させて頂きました。改めて、ご応募頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。皆さまの想いや発想を形にすべく来年度以降順次取り組んで参りますので、引き続きご協力の程よろしくお願いたします。

ふるさと納税プロモーション動画を全編公開中

神川小学校児童や町内事業者の皆さまのご協力のもと制作した「錦江町ふるさと納税プロモーション動画」を町HPで全編公開しました。

本動画では、子どもたちが町内各地でインタビューを務め、町で頑張る事業者の想いや、町の課題解決のための寄附金の使い方など、町がふるさと納税事業を「誰のため、何のため」に運用しているかを分かりやすくお伝えする内容となっておりますので、ぜひご覧ください。また錦江町では、事業者や全国の支援者の皆さまのご協力により、12月末時点で1億円を超える寄附を募ることが出来ました。心より感謝申し上げます。

